

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 追分あけぼの会

社会福祉法人追分あけぼの会

1. 令和元年度重点目標に対する評価

(1) ICT導入による業務効率の促進

今年度は、札幌市豊平区において特別養護老人ホーム羊ヶ丘陽光苑を開設し、新たな拠点での法人運営に伴い積極的なICT導入に努めて参りました。また、ICT導入により少しではありますが業務の効率化を図ることにも努めて参りました。次年度は、特別養護老人ホーム追分陽光苑の移転改築も控えており、各事業所におけるICT導入を積極的に行い、事務業務の円滑化・効率化を図ると共に、人材不足が深刻化し労働力人口が減っていく中で、各地域における需要に応えるために現場においてもICTを活用した業務効率化を積極的に図って参ります。

(2) 事業所間の連携強化

今年度は、各事業所の責任者が中心となり事業所間における情報交換や情報共有を図り、密な協力体制の基盤を構築することができました。しかし、法人全体を意識した連携の取り組み等についてはまだ十分とは言えない状況であります。次年度は、特別養護老人ホーム追分陽光苑の移転改築が控えており、事業所間における密な連携がより必要となることから、他事業所を含めた法人全体を常に意識した取り組みを行い事業所間の連携強化を図り、より強固な法人組織体系の基盤構築と整備に努めて参ります。

(3) 次世代管理職候補者の育成

今年度は、各事業所の責任者や統括主任等が中心となり、自身が担っている業務内容について次世代の職員へ説明・指導しながら業務の移行を行い、少しずつではありますが次世代の職員を育成することができました。運営事業所が拡大した当法人においては、今後も継続した次世代の職員育成が必要であり、職員の育成については長期的な時間を要することから、次年度についても継続して育成していく必要があります。法人全体で実施する研修や外部で開催される研修等に積極的に参加させ、行動力・判断力・統率力の習得を目指すと共に、各事業所の責任者や統括主任が次世代の職員へ継続して業務内容を説明・指導していき次世代の育成に努めて安定した組織基盤の構築に努めて参ります。

(4) 働きやすい環境づくり及び人材の確保

職員を確保することが困難となってきた中で、従来の求人掲載やインターネット、人材派遣、人材紹介など様々な手段を活用して、当法人のスケールメリットに関する情報を積極的に発信し、個々の生活スタイルに適した就労環境を提供できることをアピールすると共に、様々な雇用形態で人材確保に努めて参りました。年々どの地域においても職員を確保することが困難となってきた状況ではありますが、次年度も様々な手段を活用し当法人のスケールメリットに関する情報を積極的に発信し、個々の生活スタイルに適した就労環境を提供できることをアピールし人材の確保及び既存職員の定着に努めて参ります。

(5) 地域の社会福祉法人としての職員倫理感の醸成

今年度は、札幌市豊平区において特別養護老人ホーム羊ヶ丘陽光苑を開設することができ、新たな拠点でのニーズに対してより柔軟に対応する基盤を構築することができました。また、安平事業所においては、地域で行われた復興支援活動に参加するなど地域を意識した活動に努めて参りました。次年度は、特別養護老人ホーム追分陽光苑の移転改築が控えており、同じ町内ではありますが新たな地域での運営となることから、地域住民との関係性を新たに構築し、地域福祉の拠点としての役割や積極的な地域貢献に努めて参ります。

2. 理事会の開催状況

- (1) 第1回理事会 (令和元年 6月 7日 開催)
- (2) 第2回理事会 (令和元年 6月 26日 開催)
- (3) 第3回理事会 (令和元年 8月 29日 開催)
- (4) 第4回理事会 (令和元年 10月 23日 開催)
- (5) 第5回理事会 (令和元年 11月 14日 開催)
- (6) 第6回理事会 (令和元年 12月 19日 開催)
- (7) 第7回理事会 (令和2年 3月 4日 開催)
- (8) 第8回理事会 (令和2年 3月 26日 開催)

3. 評議員会の開催状況

- (1) 第1回 (定時) 評議員会 (令和元年 6月 26日 開催)
- (2) 第2回 (随時) 評議員会 (令和元年 11月 14日 開催)

4. 監事による法人内部監査の実施状況

- (1) 第1四半期法人内部監査 (令和元年 5月 29日 実施)
- (2) 第2四半期法人内部監査 (令和元年 9月 9日 実施)
- (3) 第3四半期法人内部監査 (令和元年 12月 19日 実施)
- (4) 第4四半期法人内部監査 (令和2年 3月 4日 実施)